

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.9.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.8.30 - 2019.9.30)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} / 保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,300 m ³	0 m ³	—	100 %	200900 / 252700 (80%) ・フランジタンク解体片 2019年9月末時点でコンテナ959基保管。 エリアP1 コンテナ数：634基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：325基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	63,100 m ³	+200 m ³	①②	100 %	
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85 %	
		J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0 m ³	—	78 %	
		N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0 m ³	—	96 %	
		O	屋外集積	0.01未満	42,800 m ³	+200 m ³	③④	83 %	
		P1	屋外集積	0.01未満	51,200 m ³	-200 m ³	①②③⑤	80 %	
		U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100 %	
		V	屋外集積	0.01	5,000 m ³	0 m ³	—	83 %	
		AA	屋外集積	0.01未満	10,700 m ³	+500 m ³	①⑤	29 %	
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58 %	39200 / 71000 (55%) ・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		E1	シート養生	0.02	14,200 m ³	0 m ³	—	89 %	
		P2	シート養生	0.01	5,700 m ³	微増 m ³	②	63 %	
		W	シート養生	0.03	8,800 m ³	+400 m ³	①②⑥	30 %	
		X	シート養生	0.01	7,900 m ³	0 m ³	—	65 %	
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100 %	18100 / 31700 (57%) ・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m ³ ）増加。 (2018年5月)
		A	仮設保管設備	0.14	900 m ³	微減 m ³	⑦	12 %	
		E2	容器 ^{※4}	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	31 %	
		F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %	
		Q	容器	0.04	0 m ³	0 m ³	—	0 %	
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	18,100 m ³	+600 m ³	②③⑦	40%	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m ³ ）増加。 (2018年2月)
合計（ガレキ）				276,200 m ³	+1,700 m ³	—	69 %		
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0 m ³	—	63 %	96800 / 134000 (72%)
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74 %	
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	微減 m ³	⑥	88 %	
		V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増 m ³	⑧	2 %	
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)
合計（伐採木）				134,100 m ³	微減 m ³	—	76 %		
保護衣	屋外集積	容器	0.04	54,900 m ³	-1,600 m ³	⑨	80 %	54900 / 68300 (80%)	・使用済保護衣等焼却量 5936t (2019年9月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1446本 (2019年9月末累積)
合計（使用済保護衣等）				54,900 m ³	-1,600 m ³	—	80 %		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④敷地造成関連工事 ⑤フランジタンク除染作業
⑥エリア整理のための移動（M→W1） ⑦エリア整理のための移動（A→固体庫） ⑧伐採木受入 ⑨焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

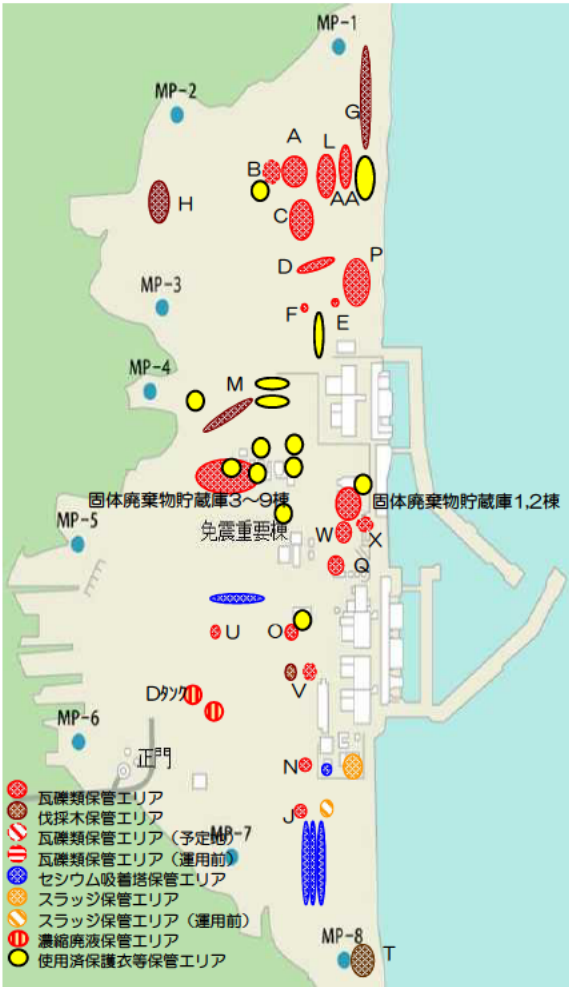
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.10.3時点)

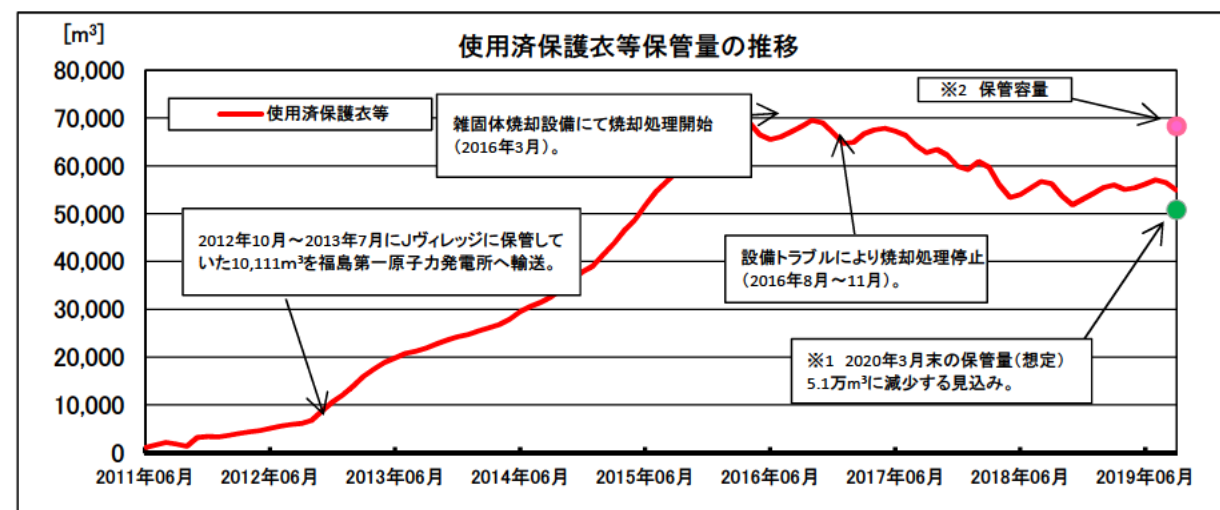
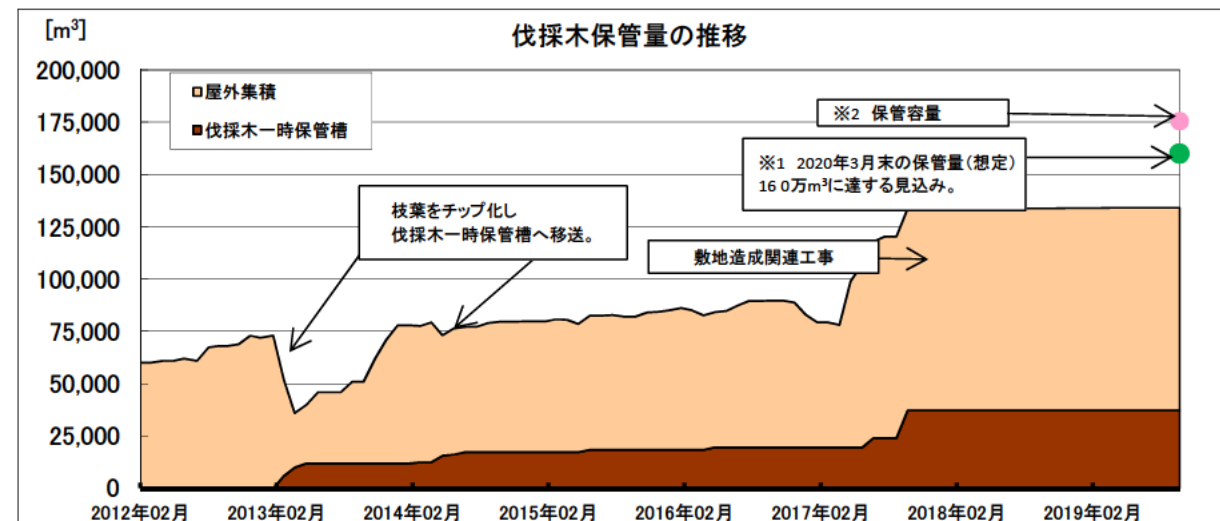
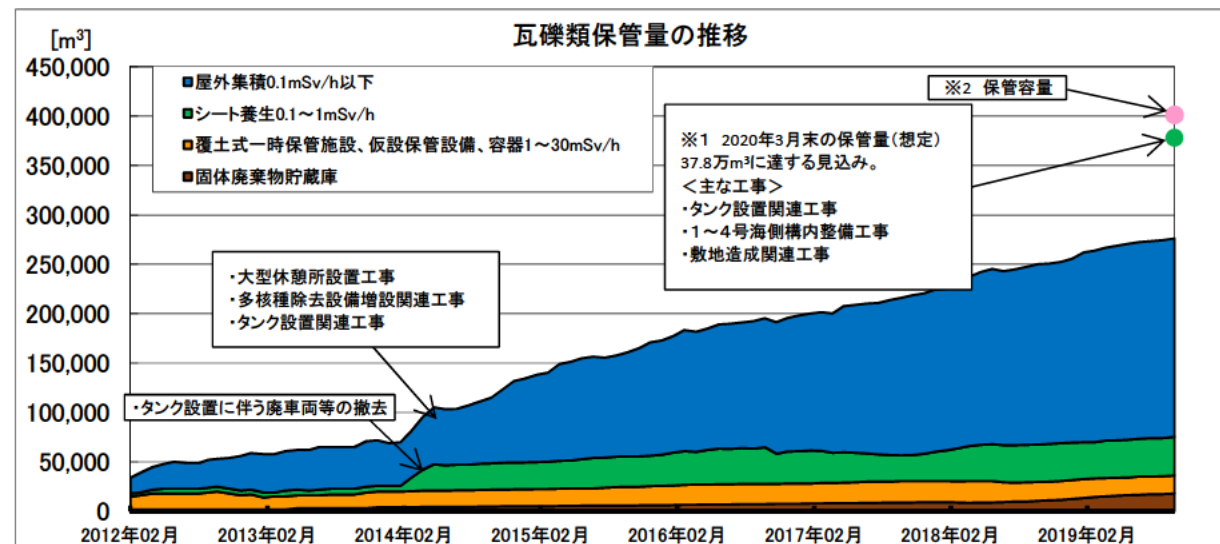
分類	保管場所	種類		保管量		前回集約からの増減 (2019.9.5 - 2019.10.3)	保管量／保管容量 (割合)	トピックス	
水 処 理 二 次 廃 棄 物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		779	本	0	本	4493 / 6372 (71%) ・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル		222	本	0	本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,644 ^{※1}	基	+5	基		
			増設	1,556 ^{※2}	基	+17	基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル		高性能	74	本	0		本
		多核種除去設備処理カラム		既設	11	塔	0		塔
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		207	本	0	本		
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597	m ³	0	m ³	597 / 700 (85%) ・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,380	m ³	-11	m ³	9380 / 10300 (91%) ・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9280 [m] タンク底部～水位計の保管量 (DS)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,644基 【誤】1,627基 (2020.3.4)

※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,556基 【誤】1,573基 (2020.3.4)



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.9.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.10.3時点)

